

9カ国100人 料理囲み 加古川で国際交流イベント



歌に乗せ、日本語で自己紹介する参加者＝加古川市国際交流センター

加古川市内で暮らす外国人が集まるイベント「ふゆまつり」が9日、同市野口町良野の市国際交流センターで開かれた。9カ国の参加者が母国の料理を持ち寄り、ゲームやダンスを楽しんだ。

加古川市国際交流協会が毎年開催。同センターで日本語を学ぶ、10〜60代の受講生やその家族ら計約100人が参加した。メキシコのタコス、インドネシアのえびせん「クルプック」など、自慢の母国料理を堪能。紙芝居「わらしべ長者」を日本語で発表する受

講生もあり、流ちょうな発音に大きな拍手が送られた。

ブラジルから日本に移住して5年目という大橋カリリネさん(28)は「ブラジルにも似た遊びがあるので驚いた。いろんな国の友人ができた」と笑顔だった。

(小森有喜)